

情報通信審議会 電気通信事業政策部会
電気通信番号政策委員会（第12回）
議事録

1 日 時

平成26年12月11日（木） 14時00分～14時30分

2 場 所

総務省10階 共用会議室2

3 出席者

（構成員）

酒井専門委員（主査）、相田委員（主査代理）、一井専門委員、河村専門委員

（総務省）

吉田電気通信事業部長、塩崎電気通信技術システム課長、堀内番号企画室長、
瀬島番号企画室課長補佐

4 議 題

- （1）答申（案）について
- （2）その他

5 模 様

開 会

【酒井主査】ただいまから、「情報通信審議会電気通信事業政策部会電気通信番号政策委員会」の第12回会合を開催いたします。

主査の酒井です。本日も議論をお願いいたします。

配付資料の確認

【酒井主査】最初に、配布資料の確認をお願いいたします。

事務局より、議事次第に沿って配布資料の確認が行われた。

前回議事録の確認等

【酒井主査】続いて、前回会合の議事録の確認をお願いします。

【瀬島課長補佐】前回会合の議事録は参考資料として配布しております。構成員の皆様に御確認をいただいた上で、既に総務省ホームページ上で公開させていただいております。

以上、よろしくお願いいたします。

議題（１）答申（案）について

【酒井主査】 それでは議題に入りたいと思います。

前回の会合で取りまとめた本委員会の報告書につきましては、11月11日に開催された電気通信政策事業政策部会において答申（案）として承認され、11月13日から12月7日までの間、意見募集が行われました。

本日は、この答申（案）に対して寄せられた意見に対する考え方について検討を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、事務局から説明をお願いいたします。

事務局より、資料 12-2 に基づく答申（案）への意見及びこれに対する考え方（案）の説明が行われた後、次の質疑応答が行われた。

【酒井主査】 それでは、御意見・御質問がございましたらよろしくお願いいたします。

【一井専門委員】 意見 8 について、電気通信番号体系について解説したウェブページはありますか。

【瀬島課長補佐】 総務省ホームページ内に電気通信番号について説明したページがございます。

【一井専門委員】 その URL を記載するというのはいかがでしょうか。意見に対する考え方を公表した時、この意見を出した人だけではなく、いろいろな人に見てほしいわけですよ。必ずしも、全ての人が電気通信番号体系をよく分かっているわけではないので、参考情報として付け加えてもいいのではないのでしょうか。

【堀内室長】 御指摘ありがとうございます。意見提出者をはじめ国民に分かりやすいものかという観点でホームページの公表情報を確認させていただき、有用と判断できれば該当の URL を追記させていただきます。

【吉田部長】 確かに電波などは、一般の方の関心が割とあるので、基本的なことから解説したページがあります。今回とは別になるかもしれませんが、分かりやすい周知方法を検討させていただきます。

【一井専門委員】 お願いします。

【相田主査代理】 昔は「電話番号に関する Q & A」という二十数ページのパンフレットがありました。現在、それ自体は残ってないだろうし、内容も古くなっているとは思いますが。

【酒井主査】 他の意見のところでもいかがでしょうか。確かに考え方としては、案のような感じかなとは思いますが。

よろしいでしょうか。意見 8 の電気通信番号体系の URL について、適当なものがあれば付け加えるということで、大きな問題はないと思います。この答申（案）に対する意見

への考え方は、全体としては御了承いただいたということによろしいでしょうか。

【相田委員】確認したのですが、「電話番号に対するQ&A」について、昔パンフレットに載っていたものがウェブページになっていますね。

【酒井主査】それが現在も有効かどうかは、内容を確認する必要がありますけども。

それでは、この答申（案）への意見に対する考え方、並びに答申（案）そのものについては、原案のとおりとするということで、これを本委員会の検討結果として12月16日に開催される電気通信事業政策部会に報告したいと思います。

どうもありがとうございました。

議題（2）その他

【酒井主査】事務局から、今後のスケジュール等につきましてお願いいたします。

【瀬島課長補佐】本答申（案）及び意見に対する考え方につきましては、先ほど酒井主査から御説明がありましたように、12月16日の電気通信事業政策部会において御審議の上、答申をいただく予定となっております。以上でございます。

【酒井主査】どうもありがとうございました。電気通信番号政策委員会における「国が提供する相談ダイヤルへの3桁番号利用の在り方」に関する検討は、本日の会合をもって終了いたします。これまで、計5回にわたる委員会での議論に御協力いただきまして、誠にありがとうございました。この件に対して、構成員の皆様より何か一言ずつお願いしたいと思います。一井専門委員からお願いいたします。

【一井専門委員】番号というのは、技術的にも歴史的にもいろいろな経緯があり、単なる数字の並びでありながら、非常に複雑なものがあるって難しいといつも思っております。

特に今回、3桁番号というのは、国民がどのようにイメージして使っているのかというところがかなり重要と思えました。3桁番号のようなものを、それだけ取り出して議論するのは難しいですが、番号全体を見渡したなかで、これからどうしていくのかを考える機会があるといいのではないのでしょうか。

今回の答申に関しては、これを活用して国の相談ダイヤルの普及など、国民生活に役立ててもらえればいいと思っております。ありがとうございました。

【酒井主査】どうもありがとうございました。河村専門委員、お願いいたします。

【河村専門委員】この3桁番号に限らず、電話番号に関係した委員会に関わるようになって結構長いのですが、最初の頃から、電話番号の世界にはすごく深い思いを持った方がたくさんいらして、非常に興味深く思っておりました。

今回の3桁番号につきましては、少し消費者相談のところにも肩入れした意見を言ってしまったのが、中立的ではなかったかもしれません。実は、消費者庁を作る運動の時に、消費者相談のために3桁番号を使うつもりでした。3桁番号を覚える歌まで作って、消費者系の弁護士とか運動団体で歌おうともしていたのですが、予算等の関係で、その時は3桁番号を実現できずにおりました。

国民として、市民としての立場から言うと、1から始まる3桁の番号がとても使いやすく価値のある資源だとするならば、やはり大事に取っておくというよりも有効に利用するという方向に開かれていく方が良いと思います。ありがとうございました。

【酒井主査】どうもありがとうございました。相田主査代理、お願いいたします。

【相田委員】先ほど、3桁番号は1から始まらなくてもいいのではないかという御意見もございましたが、例えば携帯電話では、発信ボタンを押してからダイヤル順番に押してもかかるし、ダイヤル全部押してから最後発信ボタンを押してもかかるのですが、実はネットワークからしてみるとその2つはまるっきり違って、先に発信ボタン押した方は、ボタンを押したタイミングを計って、今だと2秒ぐらいですかね、次のダイヤルがされないとそこで最初から設定し直すというような仕組みになっております。一方、一括で電話番号を先に全部押してから発信ボタンを押す方法に限定してしまえば、3桁がダイヤルされたのか10桁がダイヤルされたのかによって別々につながるというのは、技術的にはまったく問題ないのです。しかし、利用者への周知がものすごく大変であるというような、いろいろ社会的な制約の中で、このような仕組みが使われております。

どういう番号変更なら受け入れられるかについても、特に諸外国の例を見てみると、日本では信じられないようなことが他国では普通に行われていたりします。本当に奥が深いと思うのでしょうか、やはりそういう世の中の動き、特に利用者にとっての利便性を今後よく考えながら進めていかなければならないと思っております。どうもありがとうございました。

【酒井主査】どうもありがとうございました。

閉会

【酒井主査】それでは、以上をもちまして、電気通信番号政策委員会の第12回会合を閉会いたします。

本日はどうもありがとうございました。